

地球温暖化対策に関する団体・事業者の取組について

地球温暖化防止プロジェクト推進会議
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名： (一社) 岡山県婦人協議会

委員名： 大西 泰子

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
環境保全対策商品の購入推進	通 年	環境にやさしいハイラップ・洗剤の購入を推進する ちふれ化粧品の詰め替え促進
古紙トイレットペーパー使用運動	通 年	古紙のトイレットペーパーの使用を推進
マイバッグ運動	通 年	「マイバッグ」の持参により、レジ袋の使用や過剰包装の減少に努める
事務所、家庭内での節電実施	通 年	不要な照明の消灯、クールビズ・ウォームビズの実行
コピー用紙の再利用	通 年	コピー用紙の裏面使用
可燃物、不燃物、資源化物ゴミの分別の徹底	通 年	特に、資源化物ゴミについては、紙類、金属、ガラス類、プラスチック、衣類など分別を徹底する

地球温暖化防止プロジェクト推進会議
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山県消費生活問題研究協議会

委員名：森淵 玲子

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
<取組実績> マイバッグ運動	6月, 11月	啓発チラシ、エコバック配布によるノーレジ袋キャンペーン
省資源、省エネルギーへの取組	随 時	温暖化に関する研修会、エコクッキング研修、リサイクル品・リメイク品の作製等
<計画> マイバッグ運動	6月, 11月	啓発チラシ、エコバック配布によるノーレジ袋キャンペーン
省資源、省エネルギーへの取組	随 時	温暖化に関する研修会、エコクッキング研修、リサイクル品・リメイク品の作製等

地球温暖化防止プロジェクト推進会議

地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山県地球温暖化防止活動推進センター

委員名：角田 保彦

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
COOL CHOICE の啓発	従来から	県民に対して、温室効果ガス削減への取組みを促すため、国民運動である賢い選択「COOL CHOICE」の啓発を行った。
クールビズ・ウォームビズの取組みの推進	従来から	クールビズ、ウォームビズに関して、ポスター等の設置や啓発を行い、県民並びに職員へ周知した。
環境イベントへの出展	従来から	環境イベントへの出展等を通じて、温暖化防止に関する普及啓発を行った。 (11の環境イベントへ出展)
夏の節電！省エネサマーチャレンジの開催	従来から	県民を対象に、電気使用量の削減に取り組む「夏の節電！省エネサマーチャレンジ」を開催した。
緑のカーテンの設置	従来から	夏の節電の啓発を目的に環境学習センター「アスエコ」店頭で県民向けにゴーヤの種を配布した。また、「アスエコ」の施設南面にゴーヤ等の緑のカーテンを設置した。
ノー残業デーの推奨	従来から	週1回、残業を実施しない日を定めて、事務所の消灯を行った。
コピー用紙、雑紙の回収	従来から	事務所内から発生する、古紙、雑紙を分別し再利用やリサイクルを行った。
情報誌「環境」の発行	従来から	環境保全事業団が年4回独自に発行するエコ情報誌「環境 eco magazine」を発行した。 (発行部数 2,500 部)
アースキーパーメンバーシップ制度の啓発	従来から	県よりアースキーパーメンバーシップ事業を受託しているが、新規入会者を増やすため、アスエコスペシャルイベントや外部の環境イベントで実施するエコなものづくり体験の参加資格をアースキーパーであることとし、入会者の増加につなげた。
地球温暖化防止活動推進員との協働	従来から	住民への普及啓発など、地域における地球温暖化防止活動の推進役として県知事が委嘱している地球温暖化防止活動推進員と協働し、環境イベント、アスエコスペシャルイベント、環境学習出前講座などで県民に対し温暖化防止に関する啓発を行った。
温暖化防止啓発パンフレット等の作成	従来から	温暖化防止に関するパンフレットを作成し、環境イベント等で啓発を行った。
「かんぽん」の取組み(エコポイント制度)	平成22年度から	職員自らが取組んだ温暖化防止につながる活動に対してポイントを付与する制度。地域貢献として、職員が積立てたポイントに応じて、活動に役立つ備品を小学校などへ提供した。 (1ポイント=100円として換算)

地球温暖化防止プロジェクト推進会議
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：認定特定非営利活動法人
おかやまエネルギーの未来を考える会

委員名：廣本 悦子

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
地球環境基金事業	2019年度中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内大学へ気候変動対策に関するアンケート実施 ・ 「市民・地域共同発電全国フォーラムin岡山」を開催、延べ400人以上が参加。 ・ 中学生～大学生までの「エネミラユースチーム」を結成。他大学との交流（京都大学） ・ 2～3月、千葉商科大学、山陰の青少年と交流セミナーへの参加等を経て意識を高め、自校での再エネ導入の可能性、省エネ化などの調査を行う。
Greengift地球元気プログラム	6月、8月	東京海上日動火災から委託を受け、親子対象の地球温暖化防止野外プログラムを実施、年に2回、今年度で終了。
岡山県地域新エネルギー導入推進研修会	6月、10月、11月 2月（予定）	2回の室内研修会実施。県外視察1回実施（兵庫県宝塚市・西谷ソーラーシェアリング協会）3回目の研修会予定。
出前授業・出前講座	随時	倉敷市味野小学校、里庄町環境衛生協議会、岡山市第二藤田小学校、岡山市旭東中学校、岡山大学付属中学校、真庭市天津小学校、岡山市庭瀬公民館、岡山県立大学（活動紹介）
キャリアワールド受け入れ	11月	岡山大学付属中学校生徒4名
イベント出展	随時	倉敷市、西粟倉村、岡山市等

セミナー開催	7月 3月（予定）	ソーラーシェアリングセミナー COP25報告セミナー（午前・中学生対象、午後・一般向けの2回）
ラジオ出演	9月、12月	レディオモモ、RSK
グローバル気候 マーチ	9月、11月	気候変動への対策を求めるマーチを開催
自然エネルギー グッズ普及	随時	グッズ類の制作・メンテナンス、木質ペレット の販売等
J-クレジットの 仲介	随時	倉敷市のJ-クレジットを販売
自治体の審議会 出席	随時	岡山県、岡山市の審議会等 中国地域エネルギー・温暖化対策会議
寄附金贈呈	1月	あいおいニッセイ同和損保より
その他	随時	岡山市からの市民共同発電所交付金で普及啓 発。発電所10基のメンテナンス管理・運営

地球温暖化防止プロジェクト推進会議
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山県商工会議所連合会

委員名：鶴岡 良孝

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
クールビズ 県民運動	5月～10月末	県下商工会議所への周知 室温設定の励行
ウォームビズ 県民運動	11月～3月末	県下商工会議所への周知 室温設定の励行

地球温暖化防止プロジェクト推進会議
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名： 岡山県中小企業団体中央会

委員名： 大野 雅美

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
クールビズ推進	5月～10月	<ul style="list-style-type: none">・ 事務所内弱冷房・ ノー上着、ノーネクタイ等・ 県民運動ポスター掲示・ 広報誌掲載
ウォームビズ推進	11月～4月	<ul style="list-style-type: none">・ 事務所内弱暖房・ ネクタイ、上着着用等・ 県民運動ポスター掲示・ 広報誌掲載
省エネカー利用	通年	<ul style="list-style-type: none">・ 主力リース車両のハイブリッド車、低燃費車利用
省エネ機器等利用	11月～	<ul style="list-style-type: none">・ 事務所内照明器具 LED 化及び省エネ機器（エアコン等）の刷新
照明削減	通年	<ul style="list-style-type: none">・ 昼休憩時の消灯

地球温暖化防止プロジェクト推進会議

地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名： 中国電力株式会社 水島発電所

委員名： 木下 博之

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
中国電力としての 取組み	<p>継続実施中</p> <p>2011年12月～ (福山太陽光発電所)</p> <p>2014年12月～ (宇部太陽光発電所)</p> <p>2013年度から本格運 用を開始</p>	<p>■地球温暖化防止に向けた取組み 原子力や再生可能エネルギーといった非化石エネルギーの利用拡大に取り組むとともに、新規開発する火力発電所については、経済的に利用可能な最良の技術（BAT: Best Available Technology）を採用するなど化石エネルギーの効率的な利用に努めています。 また、石炭ガス化燃料電池複合発電などのCO₂低減に向けた先進的な技術開発や、石炭火力発電技術などの海外への技術支援によるCO₂削減等の取組みも行っています。</p> <p>《具体例》</p> <p>■安全確保を大前提とした原子力発電の活用 CO₂排出量の削減に大きな効果がある、島根原子力発電所の早期再稼働に向けた安全対策に確実に取り組むとともに、新たな基準に対応し、皆さまに安心していただける発電所となるよう安全確保に万全を期していきます。</p> <p>■太陽光発電の導入 福山太陽光発電所、宇部太陽光発電所の2カ所のメガソーラー発電（計6千kW）を有しており、年間約4,100t-CO₂のCO₂排出抑制につながると試算しています。</p> <p>■林地残材バイオマス石炭混焼発電実証事業 新小野田発電所と三隅発電所で実施しており、2018年度は約2.0万tの木質バイオマスを混焼発電し、CO₂排出量を約1.5万t-CO₂削減しました。</p>

<p>中国電力としての 取り組み</p>	<p>2018年11月～ (建設工事開始) 2022年11月～ (営業運転開始)</p> <p>2017年3月～2019年2月 (酸素吹 IGCC 実証試験開始) 2018年4月～ (CO₂ 分離・回収型 IGCC 実証設備の建設工事開始) 2019年3月～ (CO₂ 分離・回収型 IGFC 実証事業の着手)</p>	<p>■三隅発電所2号機の建設 最新鋭の発電方式(USC:超々臨界圧)を採用し、経済性、環境性に優れた設備にするとともに、バイオマス燃料との混焼により、さらなるCO₂排出抑制につなげようと考えています。</p> <p>■石炭ガス化燃料電池複合発電(IGFC)などの先進的な技術開発 「高効率化」「クリーン化」技術として究極の高効率石炭火力発電である石炭ガス化燃料電池複合発電(IGFC)とCO₂分離・回収を組み合わせた革新的低炭素石炭火力発電の実現を目指し、「大崎クールジェンプロジェクト」を実施しています。 なお、本プロジェクトは、電源開発(株)と共同で設立した大崎クールジェン(株)を事業主体とし、経済産業省補助事業(2012～2015年度)および国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)助成事業(2016年度～)として実施しています。</p>
--------------------------	---	--

地球温暖化防止対策に関する取り組み状況について

1. 二酸化炭素の排出状況について

当社の2018年度の二酸化炭素の排出に関しましては、粗鋼生産1tあたりの排出量(原単位)において、2017年度比で5.54%増大いたしました。これは一過性の高炉トラブルや高炉の炉体健全化工事を実施したこと等に伴う一過性の影響です。

	2017年度	2018年度	増減率
CO2原単位 (CO2-t/ts)	2.033	2.146	+5.54%
CO2排出量 (CO2-百万t/年)	18.13	16.58	-8.54%
粗鋼量 (千t/年)	8,918	7,755	-13.05%

2. 主な排出削減活動について

当社としては、全社レベルにおいて「CO2原単位の削減」に取り組んできておりますが、倉敷地区における至近での主な排出削減活動は以下の通りです。

- (1) 形鋼工場の加熱炉更新に際して高効率リジェネバーナーを採用し、排熱を効率回収することで当該設備において約10%の省エネ(=CO2削減)を図ります。2020年4月からの稼働を予定しています。
- (2) 2021年に第4高炉を改修し、生産効率向上を図ります。
炉体の健全化と最新のDS・AI技術導入による操業安定化を図り、高炉で還元剤として使用するコークスの使用量の削減等により、CO2削減を行います。

以 上

2020年1月23日

地球温暖化防止プロジェクト推進会議
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：JXTGエネルギー(株)水島製油所
委員名：総務グループマネージャー 宮崎 仁志

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
JXTG エネルギー(株) 水島製油所 A/B工場	2019年4月～	<p>■省エネルギー活動の推進</p> <p>ボイラーや加熱炉で燃料を燃焼し、製品製造に必要なエネルギー（熱・電気）を賄っており、燃焼に伴い発生したCO₂を排出しています。</p> <p>地球温暖化防止のために、エネルギー消費効率の向上させる「省エネ」ルギーによる燃料使用量削減に取り組んでいます。</p> <p>■今年度の主な取り組み</p> <p>当所では、以下により燃料使用量の削減に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none">・排ガス中の酸素濃度の厳密管理・スチームトラップ管理強化・低圧スチームの有効利用・装置の高度制御システム導入による更なる省エネ志向の運転

地球温暖化防止プロジェクト推進会議

地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名： 株式会社クラレ岡山事業所

委員名： 谷浦 昌人（環境安全部）

取組み実績および計画等

名称	時期	内容等
1. GHG(温室効果ガス)削減活動	通年	2016年(CO ₂ 排出量約64万トン)を基準年度として、年間1%削減を目標に、事業所各プロセスでGHG削減に取り組んでいる。 主要な削減活動内容を以下に示す。 (1)設備の改造等による消費電力量の低減 19年度、蛍光灯2,600灯をLED化 (2)JBIC活動(ムダ取り)による電力削減活動 (Japan Business Innovation Consulting 活動) (3)収率向上(廃棄物削減)活動 等
	2023年～	新ボイラー設備更新後、稼働開始
2. 環境製品の開発・販売		(1)ガス遮断性エパールフィルムの販売 (2)環境負荷低減人工皮革の生産 等
3. 環境保全・啓蒙活動		下記活動を継続して実施中。
①省エネサマーチャレンジ	2011年～	環境保全事業団が主催する夏の節電活動に従業員が参加。家庭での省エネ活動に取り組んでいる。
②アースキーパーメンバーシップ	2009年～	岡山県アースキーパーメンバーシップに従業員が登録し、各人が目標を設定して省エネ活動を実施。
③行政主催活動への参加	2017年～	児島湖清掃活動、旭川荘清掃活動への参加

地球温暖化防止プロジェクト推進会議
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名：岡山市市長会

委員名：岡山市市長会 事務局長 小西洋史

【岡山市】取組実績及び計画等

1 平成30年度取組実績

名 称	時 期	内 容 等
環境経営セミナーの開催	1 1 月	事業者を対象に環境経営セミナーを開催
地球環境問題ポスターコンクール	1 月～3 月	作品募集・入賞作品の展示
岡山市環境保全行動計画の推進	通年	P D C A サイクルによるマネジメントより、市役所自らの事務事業から発生する環境負荷の低減に取り組んだ
岡山 E S D プロジェクトの推進	通年	市域において E S D を推進するとともに、市域内外との情報交換・交流を推進
ライトダウンキャンペーンの実施	6 月～7 月	6 月 2 1 日～7 月 7 日の期間に可能な範囲での消灯を呼びかけた
L E D 防犯灯の設置普及	～3 月	町内会の防犯灯の L E D 化を支援、市の防犯灯の L E D 化を推進
市民共同発電事業	通年	市民団体が、市民からの募金を基に太陽光発電設備を設置する活動等を支援
市有施設への再生可能エネルギーの導入	通年	岡東浄化センター、高島小学校及び操山公民館へ再生可能エネルギー設備（太陽光発電システム）を導入
住宅用スマートエネルギー設置補助事業	～3 月	市内の住宅に太陽光発電システム、省エネ設備、電気自動車等を設置する個人に設置費の一部を助成
事業所用スマートエネルギー設備導入補助	～3 月	市内の事業所への省エネ設備、電気自動車等を導入する場合に設備費の一部を助成
公用電気自動車導入	通年	公用車として電気自動車を 1 台導入
公用燃料電池自動車導入（新）	3 月	公用車として燃料電池自動車 1 台導入
エコドライブ講習会	年 5 回	体験型エコドライブ講習会を開催
二酸化炭素削減ポテンシャル診断	通年	国の補助事業を利用し、市有施設からの二酸化炭素排出量削減のための診断を実施
緑化推進	通年	生垣・屋上緑化・壁面緑化等に助成

クールビズ	5月～10月	執務室の冷房温度の28℃に設定し、ノーネクタイ等のクールビズを推進
ウォームビズ	11月～3月	執務室の暖房温度を19℃以下に設定し、重ね着等のウォームビズを推進
ノーマイカーデーの実施	5月	マイカー等の使用自粛に取り組んだ
スマート通勤おかやまへの参加	10月	マイカー通勤から公共交通機関への利用の転換を呼びかけた
省資源の推進	通年	岡山市環境保全行動計画に基づき、節水・コピー用紙の節減に取り組んだ
バイオ燃料地域利用事業	通年	使用済天ぷら油を回収してBDFを精製し、ごみ収集車等の燃料化。
グリーン購入の推進	通年	特定調達品目及び判断基準を見直し、グリーン購入に取り組んだ

2 平成31年度取組計画

名 称	時 期	内 容 等
環境経営セミナーの開催	2月	事業者を対象に環境経営セミナーを開催
地球環境問題ポスターコンクール	1月～3月	作品募集・入賞作品の展示
岡山市環境保全行動計画の推進	通年	PDCAサイクルによるマネジメントより、市役所自らの事務事業から発生する環境負荷の低減に取り組む。
岡山ESDプロジェクトの推進	通年	市域においてESDを推進するとともに、市域内外との情報交換・交流を進める。
ライトダウンキャンペーンの実施	6月～7月	アスエコと共同で啓発イベントを実施予定。夏至及び七夕の日のライトダウンを呼びかける。
LED防犯灯の設置普及	～3月	町内会の防犯灯のLED化を支援、市の防犯灯のLED化を推進。
市民共同発電事業	通年	市民団体が、市民からの募金を基に太陽光発電設備を設置する活動等を支援する。
市有施設への再生可能エネルギーの導入	通年	認定こども園、消防署出張所、コミュニティハウスへ太陽光発電システムを導入予定
住宅用スマートエネルギー設置補助事業	～3月	市内の住宅に太陽光発電システム、省エネ設備、電気自動車等を設置する個人に設置費の一部を助成。
事業所用スマートエネルギー設備導入補助	～3月	市内の事業所への省エネ設備、電気自動車等を導入する場合に設備費の一部を助成する。

助 公用電気自動車導入事 業	通年	公用車として電気自動車を3台導入予定。
エコドライブ講習会	年6回	体験型エコドライブ講習会を開催予定（実技4回、座学のみ2回）
二酸化炭素削減ポテ ンシャル診断	通年	国の補助事業を利用し、市有施設からの二酸化炭素排出量削減の ための診断を実施する。
緑化推進	通年	生垣・屋上緑化・壁面緑化等に助成
クールビズ	5月～10月	執務室の冷房温度の28℃に設定し、ノーネクタイ等のクールビ ズを推進。
ウォームビズ	11月～3月	執務室の暖房温度を19℃以下に設定し、重ね着等のウォームビ ズを推進。
ノーマイカーデーの 実施	5月	マイカー等の使用自粛に取り組む。
スマート通勤おかや まへの参加	10月	マイカー通勤から公共交通機関への利用の転換を呼びかける。
省資源の推進	通年	岡山市環境保全行動計画に基づき、節水・コピー用紙の節減に取 り組む。
バイオ燃料地域利用 事業	通年	使用済天ぷら油を回収してBDFを精製し、ごみ収集車等の燃料 とする。
グリーン購入の推進	通年	特定調達品目及び判断基準を見直し、グリーン購入に取り組む。

【倉敷市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
ノーマイカーデーの実施	5月	マイカー等の使用自粛に取り組む。
クールビズ	5月～10月	冷房時の室温を28℃にし、ノーネクタイなどの軽装 を実践・啓発する。
くらしき環境フ ェスティバル	6月1日、16日	環境講演会、体験型ブース等において、温暖化対策、 ごみ減量、リサイクル推進、生物多様性保全、地産地 消、新エネルギー関連の普及啓発等を実施する。
くらしき省エネ セミナー	7月	中小事業者向けの省エネによる経営改善を目的とし たセミナーを開催する。

ウォームビズ	11月～3月	暖房時の室温を20℃以下にし、重ね着等による暖房に頼らないワークスタイル等を実践・啓発する。 地球温暖化に関する講演を実施する。
STOP温暖化 くらしき	12月	地球温暖化対策についての市民向け講演会を開催する。
グリーン購入	通年	グリーン購入を積極的に実践するとともに、市役所各部署でのグリーン購入促進に取り組む。
倉敷市地球温暖 化対策実行計画 (事務事業編)	通年	市役所の事務事業の実施に伴う温室効果ガスの削減目標を定め、節電・省エネ・節水・紙削減・グリーン調達等の取組を推進する。
倉敷市地球温暖 化対策実行計画 (区域施策編)	通年	クールくらしきアクションプランに基づき、本市における温室効果ガス排出量のさらなる削減を目指す。
創エネ・低炭素住 宅促進補助事業	通年	戸建住宅に、太陽光発電システム、太陽熱利用システム、燃料電池システム、定置型リチウムイオン蓄電池システムを導入する個人及びリース業者に対し、その費用の一部を助成する。
次世代エコハウ ス導入促進補助	通年	地域特性を活かした省エネ性能の高い次世代エコハウス認定を受けた新築住宅を建築する個人に対し、その費用の一部を助成する。
電気自動車等導 入促進補助	通年	EV、PHV、FCV及び充電設備の導入を行う個人、法人に対し、その費用の一部を助成する。
中小企業の省エ ネ設備導入に対 する補助	通年	エネルギーの見える化を行い、省エネ診断に基づく省エネ設備、再エネシステム等を導入する中小事業者に対し、その費用の一部を助成する。
COOL CHOICE	通年	クールビズ・ウォームビズに加え、省エネ機器の買い替え促進、エコドライブの推進、公共交通機関の利用などを促進する。

【津山市】取組実績及び計画等

名称	時期	内容等
津山市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)	平成25年4月策 定 平成29年2月改 定	津山市の事務及び事業に伴って発生する温室効果ガスを、本計画に基づく取組みを行うことで削減し、地球温暖化対策の推進を図ることを目的として策定
津山市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)	平成30年6月策 定	津山市全域の、市民生活や事業活動に起因して市内で排出される温室効果ガス排出削減を目的として、策定
低炭素都市津山 スマートエネルギー導入応援事業	平成22年度～	住宅用太陽光発電システム、太陽熱温水器等、蓄電池、超小型モビリティ購入に関する補助金支給
地球温暖化対策 普及啓発事業	時期不詳	親子エコフェスタ、森の学校、水の学校等のイベントによる環境啓発事業
グリーンカーテン普及促進事業	時期不詳	市内幼稚園、保育所等にゴーヤの苗及びプランター・土を無料配付
市民協働発電所 事業	平成27年4月～	津山市において環境活動に取り組んできた団体等で設立した一般社団法人が、統括管理を行う発電所事業に対し、市有施設の屋根等を無償提供。事業による利益は環境学習などの取組に使用される。
グリーンニュー ディール基金事 業	平成27年度	防災拠点や災害時に機能を保持すべく公共施設への、再生可能エネルギーや蓄電池、未利用エネルギー及び高効率省エネ機器の導入。 ※今年度は被災しなかったため、停電等で活用した事例はなし
超小型モビリティ導入実証事業	平成26年度～平 成29年度	超小型モビリティコムスを公用車としての利用及び他団体への貸出を行うことで、地球温暖化対策の普及啓発を行うとともに、二酸化炭素排出削減に取り組んでいる。 ※実証事業自体は平成29年度で終了したが、現在も公用車として利用し、二酸化炭素排出削減に取り組んでいる。

カーボンオフセット事業	平成25年度～	市庁舎の省エネルギータイプの空調機器の更新によって生まれた二酸化炭素排出権を活用し、カーボンオフセット通帳作成、広報誌への活用等を行っている。 また、各種イベントの際にカーボンオフセット商品のPRを行っている。
-------------	---------	--

【玉野市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
ごみの減量化及び再資源化の推進	常時	分別収集の細分化やコンポストの導入促進、家庭から排出される不用品を有効活用するための「不用品活用銀行」、各種講座・イベント等の開催により、ごみの減量化・再資源化に努めるもの。
廃食用油リサイクル(BDF化)	常時	家庭で不要になった廃食用油を回収し、BDF(生物由来ディーゼルエンジン用燃料)にリサイクルするもの。 【回収】 学校給食センター (H15～) 東児地区 (H23～)、山田地区 (H24～) 【BDF利用実績】 市役所じん芥収集車などで活用
緑のカーテン	平成20年度～	市役所本庁舎及び各保育園・幼稚園・小中学校などで、ゴーヤを使った緑のカーテンを生育するもの。
地球温暖化対策推進計画の実施	平成29年度～平成33年度	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地方公共団体実行計画」として策定した「玉野市地球温暖化対策推進計画」に基づき、職員の意識啓発、市民・事業者に対する率先行動等を行うもの。

【笠岡市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
笠岡市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金	通年	<p>市民に対して環境にやさしい自然エネルギーの積極的な利用を促進するとともに、環境保全に対する意識の高揚を図るため、自ら居住する市内の住宅に太陽光発電システム及び太陽熱利用システムを設置する者に、補助金を交付する。</p> <p>太陽光発電システムの場合は2万円/kwで発電システムを構成する太陽電池モジュールの最大出力値を乗じた額とし、5万円を限度額とする。</p> <p>太陽熱利用システムの場合は、本体及び付属機器の購入費及び設置工事費の合計額に10分の1を乗じて得た額で3万円を限度額とする。</p>
笠岡市電気自動車等購入費補助金	通年	<p>電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車の普及を促進するとともに、市民の環境保全に対する意識の高揚を図るため、電気自動車等を購入する者に補助金を交付する。</p> <p>交付申請する者が自ら使用し、市内を使用の本拠とする新車の電気自動車等を購入する者が対象で、補助金額は車両価格に10分の1を乗じて得た額で10万円を限度額とする。また補助対象車両は、普通自動車若しくは小型自動車又は軽自動車で、当該年度の国のクリーンエネルギー自動車導入促進対策費補助金業務実施細則別表1で定める電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車とする。</p>
第4次笠岡市・一部事務組合地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	通年	<p>平成29年度改訂。「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づき、市町村に策定が義務付けられている計画として、且つ平成28年5月に閣議決定された国の「地球温暖化対策計画」に定められた削減目標に寄与するため、策定されたもの。笠岡市及び一部事務組合の事務及び事業に伴って発生する温室効果ガスを計画に基づく取り組みによって削減する。</p>

ノーマイカーデーの取組	毎月最終金曜日 ※5月は岡山県下統一ノーマイカーデー	<p>計画期間：2018年度から2030年度(13年間)</p> <p>自動車による環境負荷の低減に向けた取組として、「公共交通利用の日」である月最終金曜日をノーマイカーデーとし、マイカー通勤を自粛する。特に5月の最終金曜日は、「岡山県下統一ノーマイカーデー運動」に参加し、積極的な取組を実施しました。</p> <p>取組率：63.8%</p>
クールビズ・ウォームビズの実践	<p>クールビズ R1. 5. 1 ~ R1. 10. 31</p> <p>ウォームビズ R1. 11. 1 ~ R2. 3. 31</p>	<p>地球温暖化防止の取組として「クールビズ」・「ウォームビズ」を実践する。</p> <p>クールビズ取組内容：事業所や会議室等の冷房時の室温を28℃とし、ノーネクタイ等軽装に努める。</p> <p>ウォームビズ取組内容：事業者や会議室等の暖房時の室温を20℃以下にし、暖房に頼らないライフスタイルを心がける。</p>
ノーレジ袋デーの取組	毎月10日	<p>地球温暖化の原因の一つである廃棄物の減量を図るため、買い物の際にはレジ袋をもらわない「マイバック持参」の呼びかけを行う。特に6月、11月を強化月間とし店頭にて「ノーレジ袋啓発街頭キャンペーン」を行いました。</p>
緑化の推進（緑のカーテン）	夏季	<p>夏の消費電力を抑制し地球温暖化防止を図るため、緑のカーテンを設置し、室温を下げる取組を推進しました。</p>
環境フェスティバルの開催	R1. 10. 19	<p>地球温暖化防止をはじめ、ごみの減量化など環境問題への関心を深めるため環境フェスティバルを開催しました。</p>
エコバザー（芙蓉の花フェア）の開催	R1. 10. 19	<p>地球温暖化の1つの原因である廃棄物の減量を図るため、住民からの不要品提供によるエコバザー「芙蓉の花フェア」を行い4Rの1つであるReuse（リユース）の促進を図った。</p>

<p>ごみゼロ運動 (環境美化清掃活動)の実施</p>	<p>R1.6.1</p>	<p>廃棄物の減量及び環境保全の促進を図るため、住民・事業者参加型のボランティア清掃を実施しました。</p> <p>参加人数：約 200 名 収集量：可燃ごみ 300kg 不燃ごみ 150kg</p>
---------------------------------	---------------	--

【井原市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
<p>1. 井原市環境フェア【実績】</p>	<p>令和元年 6 月 2 日 (毎年 6 月 1 週目の日曜日、平成 10 年から始まり、今年で第 22 回)</p>	<p>6 月の環境月間に合わせ、各種環境団体が集い、地球にやさしくらし方を考え、気づき、行動してもらうことを目的として市と井原市環境フェア実行委員会の主催により実施しました。会場では、3R 推進やマイバッグ運動啓発、環境学習体験ブース等で、ごみ削減を促し、地球温暖化等について、考えてもらうイベントとしています。</p>
<p>2. 環境ポスター展示(表彰式)【実績】</p>	<p>令和元年 11 月 1 日～8 日(表彰式は 11 月 3 日:毎年 11 月 1 週目の日曜日)</p>	<p>市内小学生を対象に「地球温暖化防止」、「ごみ減量化・リサイクル推進」、「食品ロス削減」をテーマにポスターを募集。優秀作品を、井原駅ビル内に展示し、地球温暖化防止等を訴えました。</p> <p>また、入賞作品 6 点の表彰式を 11 月 3 日に行い、その作品を市内一般廃棄物収集運搬委託事業者のご協力のもと、パッカー車 3 台に掲示し、作業に当たってもらうことで市内全域に活動の PR を図ります。</p> <p>さらに、入賞作品が掲載してあるクリアファイルを応募者及び関係者に配布し、啓発に努めました。</p>
<p>3. マイバッグキャンペーン推進啓発活動【実績】</p>	<p>6 月と 11 月の 2 回 (強化月間に合わせて毎年実施)</p>	<p>6 月と 11 月の「おかやまマイバッグキャンペーン」月間に、「岡山県統一ノーレジ袋デー」に定められる 10 日の前後にエコバッグ、チラシ、ティッシュ等の啓発グッズを配布し、不要なごみの削減を訴えることで、地球温暖化対策の活動をしました。</p> <p>今年度は、6 月 11 日と 11 月 10 日に開催しました。</p>

<p>4. 市役所及び関連施設の独自の「ライトダウンキャンペーン」実施</p> <p>【実績】</p>	<p>平成 30 年 3 月 14 日から開始 (毎週水曜日実施)</p>	<p>環境省では、「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」として、6月21日(夏至)と7月7日(七夕)の20時~22時までの2時間を特別実施日に設定して、全国のライトアップ施設や各家庭の照明の一斉消灯呼び掛けを行っていました。</p> <p>井原市では、これをさらに発展させ、市役所及び関連施設で毎週水曜日の20時以降にライトダウンを推奨する取り組みを行っています。</p>
<p>5. エコまちモデル事業整備(電気自動車急速充電器・太陽光発電型LED照明・太陽光発電システム・定置型リチウムイオン蓄電池・エネルギー監理システム・啓発用看板設置)</p> <p>【実績】</p>	<p>平成 30 年 3 月 10 日 平成 31 年 1 月 12 日</p>	<p>市民の省エネルギーや再生可能エネルギーへの関心を高め、循環型社会の形成を図るため、エコまち事業の推進として、モデル施設の整備を行いました。</p> <p>整備の内容は、29年度には美星産直プラザに電気自動車急速充電器1基と太陽光発電型LED照明を4基を設置しました。</p> <p>また、30年度には太陽光発電システム(5.2kW)、定置型リチウムイオン蓄電池(5.6kWh)、エネルギー監理システム、また本事業による取り組みを推進するための啓発用看板を設置しました。</p>
<p>6. 地方公共団体実行計画(事務事業編)の改訂により強化・拡充を図る</p> <p>【実績】</p>	<p>平成 31 年 3 月</p>	<p>CO₂排出量や削減ポテンシャル等の現状の分析を行い、2030年度に向けた目標及びその目標の達成のために取り組むべき施設及び設備の絞り込みを行いました。</p> <p>また、全庁的かつ多層的なPDCAを備えたカーボン・マネジメント体制の整備及び推進をします。</p> <p>この計画を基に、該当施設及び設備の空調機器や照明器具のLED化等により、二酸化炭素排出削減をし、もって地球温暖化対策を進めていきます。</p>

【総社市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
緑のカーテン設置	平成 20 年度から毎年（5 月～10 月）	市庁舎の南側と東側に約 80 本のゴーヤを植えて、壁面に緑のカーテンを設置することにより室温上昇を抑制し、温室効果ガス削減に取り組んでいる。
クールビズ・ウォームビズ運動	クールビズ（5～10 月）ウォームビズ（11～3 月）	夏はノーネクタイ等の軽装により冷房時の室温を 28℃に保ち、冬は厚着等により、暖房時の室温を 20 度に保つことで温室効果ガス削減に取り組んでいる。
住宅用スマートエネルギー導入促進補助	平成 29 年度から	市内の住宅へのスマートエネルギー化に資する機器（太陽光発電システム・太陽熱利用システムなど全 10 種類）の導入に対し補助金交付実施 H29：（14 件） H30：（31 件） R1：（33 件）

【高梁市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
クールビズ	5 月～10 月	ノーネクタイ等のクールビズ推進
ウォームビズ	11 月～3 月	重ね着等の服装に努め、暖房に頼りすぎないスタイルの推進、ウォームシェアの推進
クールシェア	6 月～9 月	公共施設のクールシェアスポット活用による節電及びCO2の削減
庁舎内の消費電力の削減	通年	冷暖房の運転に係る適正管理、昼休みの消灯
マイカー通勤の自粛	5 月・10 月	通勤時におけるマイカー使用の自粛
マイバッグ運動	通年	買い物の際にマイバッグ持参を呼び掛ける広報活動 （6 月・11 月は強化月間として、大型商業施設において広報活動を実施）

【新見市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
<p>新見市地球温暖化対策実行計画 <第1回></p>	<p>平成23年4月1日～平成28年3月31日</p>	<p><取組状況> 夏期・冬期における空調の使用について以下に関する取り組みを推進。 ・空調設定温度（室内温度）：夏期 28℃、冬期 20℃を実施。 ・空調運転時間を短縮化。（退庁時間前に電源オフ） ・クールビズ、ウォームビズの推進。</p> <p><取組実績> 庁舎において省エネが達成されたが、他の施設において、エネルギー使用量が増加したことにより全体平均エネルギー使用量は増加。</p>
<p><第2回></p>	<p>平成28年4月1日～令和3年3月31日</p>	<p><取組状況> （1）第1回計画時の取組を継続的に行う。 （2）省電力化の推進。 ・照明のLED化、人感照明センサーの設置 （3）低公害車への転換。 ・普通車購入からハイブリッド車・軽自動車購入へ。</p> <p><取組実績> H29年度から取組による実績が現れ、H29年度実績で対前年3.0%減、さらにH30年度実績で対前年比7.1%減の省エネ効果が見込まれた。</p>

【備前市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
備前市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	H29. 2 月	H29. 2 月策定 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 21 条に基づき、市町村に策定が義務付けられている計画として策定されたもの。
備前市カーボン・マネジメント強化事業（蕃山荘）	H30. 11～H31. 1	H30. 8 月交付決定 蕃山荘の照明、空調、給湯、換気設備を高効率設備等に更新するとともに、設備の運用改善を行い、施設のCO2削減を図る。
備前市カーボン・マネジメント強化事業（備前市総合運動公園）	R1. 6～R2. 1	R1. 6 月交付決定 備前市総合運動公園の体育館の照明、温水プールの照明、空調、プール加温、給湯設備を高効率設備等に更新するとともに、設備の運用改善を行い、施設のCO2削減を図る。

【瀬戸内市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
公共施設等先進的 CO2 排出削減対策モデル事業	平成 28 年度から令和 2 年度まで	公共施設を対象に太陽光発電による再生可能エネルギーを活用したマイクログリッドを導入し、併せて空調設備をはじめとした省エネ改修及び空調機の遠隔監視機能を活用した地域全体のデマンド制御を行うことにより、エネルギー需給バランスの最適化管理を行う。加えて、地域内あるいは地域間で電力を融通しエネルギーを地産地消し、エネルギーロスを極限まで抑え、かつ価格インセンティブの導入によりマイクログリッド内で自律的に電力需給のバランスをとるシステムを構築することで再生可能エネルギー固定買取制度（FIT）に依存しない再生可能エネルギーの導入促進を目指す。

【赤磐市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
赤磐市地球温暖化防止活動実行計画	令和2年4月	赤磐市地球温暖化防止活動実行計画の導入予定
ノーマイカーデーに参加	令和元年5月	県下一斉ノーマイカーデーに参加
スマート通勤に参加	令和元年10月	「スマート通勤おかやま」に参加
不要電力の節電	通年	土、日、祝日及び平日午後5時15分以降の冷暖房停止 昼休み時間の消灯 パソコン電源管理の徹底
クールビズの推進	令和元年5月～10月	ノーネクタイ等のクールビズの推進
ウォームビズの推進	令和元年11月～令和2年3月	重ね着等による暖房に頼らないワークスタイルの推進
エコ商品購入の推進	通年	エコ商品購入の実践を推進
小水力発電の実験	通年	ナカシマプロペラ(株)、(株)川本との下水道処理水を利用した小水力発電の実証実験

【真庭市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
旧町村地球温暖化対策実行計画策定	平成 12 年度 (2000 年) ～ 平成 13 年度 (2001 年)	京都議定書を踏まえた「地球温暖化対策の推進に関する法律」(平成 11 年(1999 年) 4 月施行)に基づき、合併前旧町村が地球温暖化対策実行計画を策定
真庭市地球温暖化対策実行計画策定	平成 18 年度 (2006 年度)	合併後、第 1 次を平成 19 年度(2007 年度)～平成 23 年度(2011 年度)、第 2 次を平成 24 年度(2012 年度)～平成 28 年度(2016 年度)、第 3 次(事務事業編)を平成 29 年度(2017 年度)～令和 3 年度(2021 年度)の計画期間とする真庭市地球温暖化対策実行計画を策定。
第 2 次真庭市地球温暖化対策実行計画策定	平成 23 年度 (2011 年度)	第 3 次計画は、パリ協定を踏まえた「地球温暖化対策計画」(平成 28 年 5 月閣議決定)に基づき、温室効果ガス排出量削減目標を 2021 年度に 2013 年度比-8%、2030 年度に 2013 年度比-30%という目標を立て、施設運用の改善や省エネ・新エネの推進などのソフト・ハード両面での施策に取り組んでいる。
第 3 次真庭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)策定	平成 28 年度 (2016 年度)	
真庭市クールチョイス推進宣言及び同推進事業の実施	平成 29 年度 (2017 年度) ～ 令和元年度 (2019 年度)	平成 29 年(2017 年) 4 月、地球温暖化防止に資する国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の推進を宣言。同年より、環境省の補助事業を活用し、ケーブルテレビをはじめとする地域の様々な主体と連携して様々な切り口から市民の意識・行動変革を図る。

【美作市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
・クールビズ	H31. 5. 1～ 10. 31	冷房時の室温を28℃に設定し、ノーネクタイなどの軽装を実施
・ウォームビズ	R1. 11. 1～ R2. 3. 31	暖房時の室温を20℃以下に設定し、重ね着等による暖房に頼らないワークスタイルを実施
・ノーマイカーデー	R1. 5. 31	県下統一の実施日に、公共交通機関や自転車、徒歩、相乗り等による通勤を推奨、実施
・庁舎内の節電	通年	昼休みの全面消灯、始業前、時間外の必要最低限の点灯
・マイバッグ運動	R1. 8. 10 10. 10、11. 8	市環境衛生協議会と連携して市内のスーパーなどの店頭で啓発運動を実施

【浅口市】取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
みどりのカーテン普及事業	5/23～9/26	市役所壁面にゴーヤで緑のカーテンを作成し、市民をはじめ来庁者の環境に対する意識啓発の一助とする。
岡山県下統一ノーマイカーデー	5/31	県主導のノーマイカーデー運動の活動趣旨に賛同し、全庁で参加。
スマート通勤おかやま 2019	10/21～11/1	県主導のスマート通勤おかやまの活動趣旨に賛同し、全庁で参加。

地球温暖化防止プロジェクト推進会議
地球温暖化防止対策に関する取組状況について

所属団体名： 岡山県町村会

委員名： 亀森敏宏

取組実績及び計画等

名 称	時 期	内 容 等
クールビズ県民運動	5月から10月	・職員に対して、クールビズの周知
ウォームビズ県民運動	11月から3月	・職員に対して、ウォームビズの周知
	年 間	・休憩時間の消灯